

たんぽぽ級のしおり

たんぽぽ級クラス目標

あんだんて



「あんだんて」とは、イタリア語で「歩くような速さで」との意味があります。ハイペースで走り続けると息が上がったり、足が痛くなったり継続することが難しいですが、自分によって心地よい速さで歩くことで歩き続けることができます。一人ひとりにとっての心地よい速さを見つけ、それぞれの課題に向かって「アンダンテ」で取り組める学級であることを目指しています。

1、たんぽぽ級ってどんなところ？

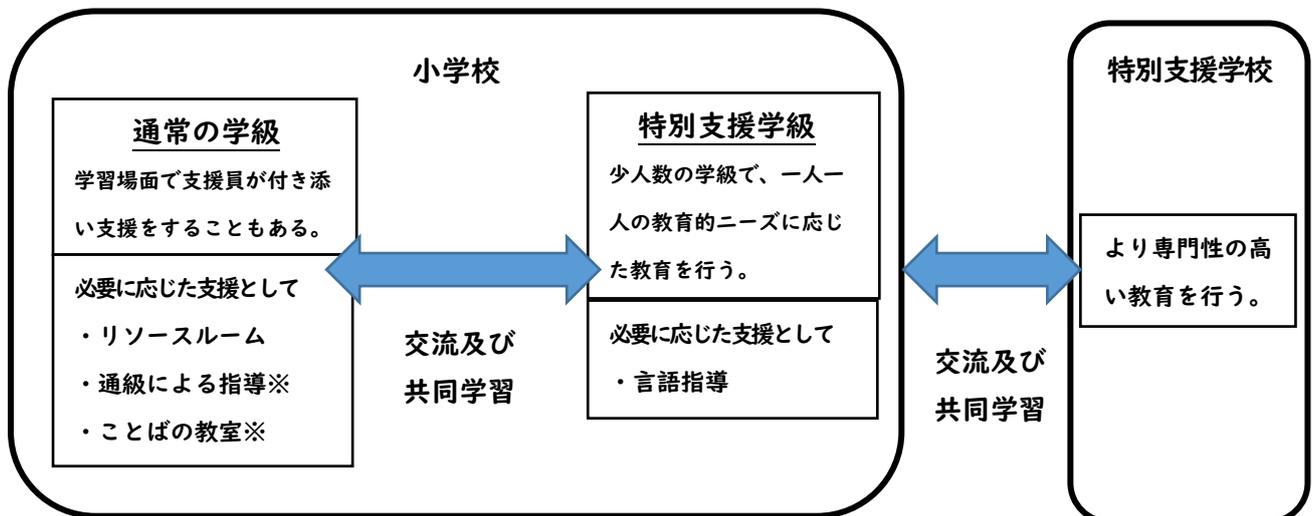
特別支援学級は学校教育法に基づき、障がいがあるため通常の学級では十分な効果をあげることが困難な児童生徒を対象とし、小学校・中学校に設けられる少人数の学級です。現在東柏ヶ谷小学校のたんぽぽ級は知的障がい学級と情緒障がい学級があり、児童一人ひとりの特性に合わせ、それぞれのペースで自己効力感を得ながら学校生活を送っています。

2、通常学級と特別支援学級の違い

	通常学級	特別支援学級
学級	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童が在籍している。 ・個々の障がい配慮しつつ、通常の教育課程での指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童を対象にした少人数学級。 ・障がいによる学習や生活の困難を克服するための特別な教育課程を組み、児童のニーズに応じた指導を行う。
学級構成	同学年の児童で構成	障がい種別による学級編成 ※1
教育活動	<u>学習指導要領を基準にした教育課程</u>	<u>特別の教育課程</u> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動がある。 ・下学年の教科目標や内容を学習している ・知的障がい部門特別支援学校の教育課程を参考にして教育活動を行っている。
児童：担任人数比	最大 35 人の児童に対して担任 1 人。	最大 8 人の児童に対して担任 1 人。

※1 たんぽぽ級では、朝の会、給食指導、清掃活動、学級活動などは、知的障がい学級と情緒障がい学級と一緒に活動をしています。

現在の学校教育では、インクルーシブ教育システム理念の実現に向け、すべての子ども達が可能な限り共に教育を受けられるように条件整備をしています。また支援が必要な子どもの自立と社会参加を見据え、一人ひとりの教育的ニーズに最も的確にこたえる指導が行えるよう通常の学級、特別支援学級、特別支援学校といった連続性ある多様な学びの場で指導しています。



文部科学省資料をもとに東柏ヶ谷小学校の特別支援教育の体制に編集

※東柏ヶ谷小学校には、通級指導教室が併設されていないため、友だちとの関係づくりやソーシャルスキルトレーニング等の支援が必要な児童は、週1回放課後に上星小学校「ほしのご教室」へ通います。またことばの習得や発音等の支援が必要な児童は週一回放課後、柏ヶ谷小学校「ことばの教室」に通う児童もいます。

3、たんぼぼ級の特色

① 「個別の指導計画」を軸とした指導

新学年のスタート時、保護者の方にはお子さんの情報や保護者の思いを記したフェイスシートを作成していただきます。担任はフェイスシートを参照しながら学校でのお子さんの様子を丁寧に見取ります。その後4月下旬から5月上旬に行う教育相談で、担任と保護者の話し合いをもとに、お子さんの目標を立て「個別の指導計画」を作成していきます。「個別の指導計画」は、「基本的生活習慣」、「運動機能」、「社会性」、「認知・学習」、「交流及び共同学習」の観点から目標を設定し、「個別の指導計画」に沿って毎日の指導を行っています。

② 自立活動

自立活動は、特別支援学校の教育課程において特別に設けられた指導領域です。「健康の保持」「心理的な安定」「身体の動き」「コミュニケーション」を組み合わせ、支援級や交流級での集団活動にも生かしていけるよう指導しています。

③ 異学年集団での活動

たんぼぼ級は、1年生から6年生の児童が在籍しています。朝の支度や清掃活動、給食指導など上級生が下級生をサポートする雰囲気はたんぼぼ級のよいところです。

④ たんぼぼでの生活の学習

生活では、児童の特性に合わせ「各教科等の合わせた指導」に加え、「日常生活の指導」、「遊びの指導」、「生活単元学習」、「作業学習」をしています。主にたんぼぼ農園での野菜作り、買い物学習、作業学習の一環としての校内の清掃活動などに取り組んでいます。また、2～3月にはたんぼぼ級での進級・お別れ遠足や、市内の支援級との交流として合同宿泊(2年に一度)、柏ヶ谷中学校区での合同レクなど行っています。

4、質問コーナー

Q1、子どものことを担任の先生とどのような形で情報交換していますか。

A、学校からは、毎日の連絡帳でお子さんが頑張っていることや活動の様子を担任から伝え、家庭からはお子さんがスムーズに学校生活を送れるように健康面に関すること(睡眠や排泄、排尿時間等)や下校後の様子を情報交換しています。必要に応じて放課後担任から保護者と電話などでより詳しく話し、学校と家庭が連携しながらお子さんが毎日安心して学校生活を送れるようにサポートしています。

Q2、たんぽぽ級卒業後の進路を教えてください。

A、小学校5年生から教育相談を通して、お子さんの中学校の進路について話し合います。柏ヶ谷中学校とも連携を行っており、つながりある学びの場には、お子さんにとってどんな場がよりよいか、お子さんはどんなことを希望しているか話し合っていきます。

Q3、通常級での交流及び共同学習について教えてください。

A、たんぽぽ級の児童は支援級に在籍しながら、交流級にも属しています。毎日の朝の会や、児童の興味関心や特性に応じて必要な支援を受けながら交流級での学習にも参加しています。たんぽぽ級では、低学年の段階から支援級の児童と通常級の児童が共に学びあえる関係を築けるようにスタッフ（担任、介助員、ボランティア）が一丸となって取り組めるように努めています。

Q4、時間割はどうなっていますか。

A、児童一人ひとりの興味関心や特性に応じて時間割を組んでいます。見通しがもてるように児童一人ひとりの一日の時間割をホワイトボードに掲示し、児童と朝の会などで一日の流れを確認しています。時間割に変更がある場合は、児童の特性に応じて参加するかどうかの相談をしながら取り組んでいます。



たんぽぽ級では、児童一人ひとりの思いや願いを大切にし、自分ができるという自己効力感を育む指導を行っています。疑問に思ったことがありましたら、ご連絡いただけたらと思います。（日中は指導中のため、放課後等に対応させていただきます。）

海老名市立東柏ヶ谷小学校

電話番号:046-232-3716

たんぽぽ級担任

特別支援教育コーディネーター